

# 水土里情報システムのデータバンクとしての活用に向けた検討について紹介します

今回紹介する団体： 水土里ネット青森

## 取組概要

内容： 受託業務における成果品等のデータをGIS化。「水土里情報システム」に、各種調書、図面等のデータを格納・蓄積し、「水土里情報システム」のデータバンクとしての活用方法、展開方法について検討を行う検討チーム(土地連、県がオブザーバーとして参加)を令和3年2月に立ち上げた。

経緯： 「水土里情報システム」に一層の利用価値を付与し、農業農村整備等に有効に活用できるデータを集約していく「データバンクとしての活用」に取組むことにより、市町村、土地改良区等に対する地理情報の普及と「水土里情報システム」の活用への促進を図るため。



資産評価データについてのGIS化の一例

## 取組による効果

必要な時に必要な場所で、必要な情報を取り出しデータを活用することができ、地図とデータは連動しているため、スムーズに目的の情報にたどりつくことが可能。データ検索の時間短縮により、業務の効率化が図られる。

データは常にクラウド上に蓄積されていくため、天災によるデータの消失、人為ミスや破棄などによる重要なデータの紛失がない等。

## 今後の活用予定

「水土里情報検討チーム」にて利用者のメリットとなるようにあらゆる方面(データバンクとしてのあり方、活用方法、市町村、土地改良区への展開方法)から検討を重ね、整理したうえで方向性を定め、利用の促進へとつなげていく。

## GISシステムのバージョン情報

GISアプリ: 水土里情報システム(クラウド運用 「GISAp Web」ベース)

GISエンジン: ArcGIS ArcMap

## ■お問い合わせ先

青森県土地改良事業団体連合会管理指導部水土里情報支援G

017-723-2406(直通)